

令和3年5月24日

宮澤節生名誉教授受賞のお知らせ

この度、本学名誉教授の宮澤節生氏（1983～2000年に法学部・法学研究科に在職）が、アメリカ法と社会学会（Law and Society Association）の2021年のThe Stanton Wheeler Mentorship Award と The LSA Legacy Award を二重授賞することとなりました（<https://www.lawandsociety.org/2021/05/18/lisa-2021-annual-awards-announced/>）。

The Stanton Wheeler Mentorship Award は、ホワイトカラー犯罪や刑事司法過程などを研究しながらイェール大学ロースコースで教鞭をとった社会学者 Stanton Wheeler を顕彰するものとして2008年に設けられた賞で、法社会学研究者の育成に強い功績のあったかたに贈られるものです。宮澤教授自身が Wheeler 教授の教え子であったとのことで、また、教授による同賞の受賞はアジア地域出身の法社会学者として初めてのこととなります。

The Legacy Award は、アメリカ法と社会学会の活動・運営に長年の貢献があったかたに贈られるものです。宮澤教授は、神戸大学に教授として在籍した1980年代から、日本国内のみならず米国などの諸大学においても法社会学教育および日本法教育に非常に熱心に取り組み、日米間の学問的交流に尽力しました。今回の二つの賞の受賞はその多年に亘る大きな功績に対するもので、国境を越えた知的交流の必要性・重要性がとみに増している現在、大きな意義を有するものです。

☆宮澤教授の業績は、『犯罪捜査をめぐる第一線刑事の意識と行動』（成文堂、1985年）、*Policing in Japan* (State University of New York Press, 1992。1993年アメリカ犯罪学会国際犯罪学部門最優秀図書賞受賞)、『法過程のリアリティ』（日本評論社、1994年）、『ブリッジブック法システム』（共著。信山社、第4版2018年）など多数におよびます。2017年までの経歴・業績については上石圭一ほか編『現代日本の法過程 下巻』（信山社、2017年）巻末を参照ください。アメリカ法と社会学会の顕彰事業については https://lawandsociety.site-ym.com/page/Prizes_Awards をご覧ください。